



政策研究大学院大学・国際交流基金日本語国際センター主催

第31回日本語文化研究会研究発表会

政策研究大学院大学と国際交流基金日本語国際センターは、連携して外国人日本語教師を対象とした「日本語教育指導者養成プログラム(修士課程)」と「日本語文化研究プログラム(博士課程)」を運営しています。日本語文化研究会は、本プログラムに在籍する学生と教員、および修了生を中心とした研究会です。今回の研究発表会では、修士課程の学生5名がそれぞれ取り組んできた研究の成果を発表いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成29年9月2日(土) 13:30(開場 13:00) ~ 16:30(予定)

場所：政策研究大学院大学 講義室 M (5階)

都営大江戸線六本木駅より徒歩5分、東京メトロ日比谷線六本木駅より徒歩10分、東京メトロ千代田線乃木坂駅より徒歩6分

* 本学へのアクセスは < <http://www.grips.ac.jp/about/access/> > をご覧ください。

参加費：無料

申込方法：お名前とご所属機関を明記の上、Eメール(jlc-ml@grips.ac.jp)またはファックス(03-6439-6040)にて、お申し込み下さい。

* 参加申込の際にいただいた個人情報は、本研究会以外の目的では使用いたしません。

申込締切：平成29年9月1日(金)17:00

お問い合わせ：政策研究大学院大学 日本語文化研究会事務局 担当：小粥

Tel: 03-6439-6045 / Fax: 03-6439-6040 / E-mail: jlc-ml@grips.ac.jp

【プログラム】

時間	発表者氏名	所属機関(国)	タイトル*	
13:30 - 13:40	挨拶・趣旨説明			
口頭発表	13:40 - 14:05	NARESH KUMAR ナレシュ クマール	デリー大学 (インド)	インターネット上のリソースを活用したピア・ラーニングの試み ー話し合い活動の展開に注目してー
	14:05 - 14:30	NWE NI WIN ヌエーニウィン	マンダレー外国語大学 (ミャンマー)	「参加型学習」の考え方に基づいた活動に学習者はどう参加し、どう捉えたか ーマンダレー外国語大学における漢字の授業の改善に向けてー
	14:30 - 14:55	PARK JU HYUN 朴 柱銜 パク ジュヒョン	蔚山外国語高等学校 (韓国)	多量のインプットとグループ活動を取り入れた気づきを促す 文法指導ー「テイル」の状態用法に焦点を当ててー
	14:55 - 15:15	休憩		
	15:15 - 15:40	PHOO PWINT PHYU プーピンピュ	ヤンゴン外国語大学 (ミャンマー)	ピアリスニングを取り入れた初級聴解授業の試み ーピアでの話し合いと学習者のテキストの全体的な内容理解の繋がりにー
	15:40 - 16:05	ALVAREZ ROELIA VALENTINO アルヴァレス ロエリア ヴァレンティノ	フィリピン大学 (フィリピン)	フィリピン大学の日本語クラスにおけるディクトグロスの導入 ー初級学習者を対象にした試みー
16:10 - 16:20	挨拶・ご連絡・閉会			

*タイトルは変更する可能性があります。

最新情報は、政策研究大学院大学ホームページ(<http://www.grips.ac.jp/jp/seminars/>)をご覧ください。